

自治会・回覧

会員各位

’ 12.09.30

桜台自治会

会長 内田 信宣

●赤い羽根共同募金のお願い

本年も「平成24年度赤い羽根共同募金運動」が例年通り実施されます。

皆さまからお寄せいただいた募金は、民間社会福祉事業の貴重な財源として、また、民間社会福祉施設の整備や福祉事業の推進に活用されます。

何かと出費の多い折りですが、募金の趣旨をご理解のうえ善意のご協力をお願いします。

なお、町内の高齢化や小家族化などの急激な進行により、班長さんの募金(集金)作業の負担が問題になっています。ついては、今回その負担軽減のため、町内一律に募金の方法を次の”2ステップ”で行うこととしました。

ステップ1. 回覧にて前もって、“募金(寄付)申込者(賛同者)”を確認する。

賛同者は、“募金のお願い文書”に添付の“申込書”にて、申し込む。

ステップ2. 班長さんは、申込者(賛同者)宅を訪問し、募金(寄付)を頂く。

従って、会員の皆さまは、募金に賛同する/しないを判断のうえ申込書に必要事項をご記入のうえ、班長さんの訪問をお待ちください。

また班長さんにはご苦勞をお掛けしますが、申込書に従って募金を集め、11月30日(金)までに自治会事務局までお届けください。

なお、その際お手数ですが”未使用の領収書”も一緒にお返してください。

皆さま方には日頃から多大なご協力を頂いておりますが、本件に関してもよろしく願い申し上げます。

(備考) 桜台自治会の平成23年度募金実績額は、389,900円(896戸)でした。

以上

今年度活動スローガン：

みんなで創る 安全で安心の 美しい町

桜台自治会ホームページ：<http://www.i-sakuradai.jp>

歳入

- 皆様からいただいた活動資金 638,157,957円
- 雑収入等(補装具製作収入ほか) 84,903,624円
- 昨年度の繰越金 25,926,900円
- 繰り入れ金(災害等資金積立金より) 12,374,401円

歳出

● 災害救護体制の充実・強化 ●

154,621,360円

1 災害救護訓練や災害救護要員研修 延べ370人

- 九都県市合同防災訓練
- 航空機事故消火救難訓練
- 海上多数被災者訓練
- 関東管区広域緊急援助隊総合訓練
- 新任救護班要員研修会
- dERU設置運用研修会
- 日赤DMAT研修会
- 救護看護師研修会
- こころのケア研修 等

2 救護装備の整備

- dERUコンテナ 1式
- 業務用無線機 5台
- 災害救援物資等保管倉庫 1棟(地区区分配備)
- 災害用移動炊飯器 4基(地区区分配備)
- 発電投光機 9基(拠点倉庫配備)
- 画像伝送システム 1セット
- 災害救援車(更新) 8台(地区区分配備)

3 地域における奉仕団・赤十字防災ボランティア体制の強化

- 赤十字防災ボランティア登録状況 (平成24年3月31日現在)

リーダー	31人
地区リーダー	228人
一般登録	330人
計	589人

- 一般登録説明会 10箇所
- 地区リーダー養成講習会 5回



海上多数被災者訓練

● 東日本大震災における日本赤十字社千葉県支部の救護活動 ●

発災後ただちに救護班を派遣!!
宮城県石巻市地域・岩手県金石市地域を中心に延べ250名の医療チーム等を派遣し、救護活動を行いました。



宮城県石巻市蛇田中学校にてdERU(国内型緊急対応ユニット)を設置し医療救護活動を行う千葉県支部救護班

◎救護班等の派遣状況 (平成24年3月31日現在)

救護班	DMAT	こころのケア要員	支部災対・病院支援・情報収集等
21個班(147名)	1チーム(6名)	12名	85名

◎赤十字奉仕団・赤十字防災ボランティアの活動状況 (平成24年3月31日現在)

活動地域	人数	活動内容
千葉県内の活動	6,585人	非常炊き出し、義援金募集、救援物資仕分け、がれき撤去作業等
県外での活動	598人	ボランティアセンター運営支援、被災家屋の清掃・土砂の片付け等

◎義援金の受付状況 (平成24年3月31日現在)

東日本大震災義援金へ多くの皆さまから温かいお気持ちをお寄せいただきました。寄せられた義援金は配分委員会を通じて被災者に届けられています。

◎日本赤十字社に寄せられた義援金

- ▶ 274万9,360円
- ▶ 3,134億4,804万3,885円

◎日本赤十字社千葉県支部に寄せられた義援金

- ▶ 3,116件 ▶ 17億6,846万8,830円

◎救援物資の配付状況 (平成24年3月31日現在)

救援物資	配付枚数
毛布	15,670枚
日用品	2,120セット
ガーゼケット	930枚
バスタオル	1,010枚
敷布	700枚
安眠セット	1,000セット
緊急セット	366セット

● 国際救援活動 ●

10,081,800円

1 緊急救援・復興支援及び途上国における開発協力

- (1)ネパール及びバングラデシュ青少年教育等支援事業
- (2)カンボジア地雷犠牲者支援事業
- (3)ウガンダ母子保健事業
- (4)ウガンダ北部地区病院支援事業
 - 医療支援要員として職員1人を派遣
- (5)北イラク・クルド地域における戦傷外科実地研修
 - 実践的な戦傷外科患者治療習得のため職員1人を派遣

2 国際救援要員の養成

- 国際医療救援拠点病院が行う各種研修に職員が参加...2人
- 国際救援・開発協力要員の登録状況 10人

3 海外救援金の募集

(日本赤十字社本社を通じて救援)

- ニューゼaland地震及び中近東人道危機救援金 8件 617,206円
- 「NHK海外たすけあい」に 484件 1,741,677円



ウガンダ北部地区病院支援

● 健康・安全のための知識と技術の普及 ●

28,741,688円



幼児安全法講習

赤十字救急法等5つの講習を、ボランティア指導員と協働して実施し、延べ37,000人に対し、人命を救う方法や、日常生活における健康・安全のための知識と技術の普及に努めました。

1 講習受講者数(延べ) 37,168人

- 救急法講習(基礎講習を含む) 28,758人
- 水上安全法講習 973人
- 雪上安全法講習 16人
- 健康生活支援講習 5,099人
- 幼児安全法講習 2,322人

2 指導體制の強化

- 救急法指導員養成 12人
- 幼児安全法指導員養成 11人
- 講習指導員の登録状況 515人 (平成24年3月31日現在)

3 イベント等における臨時救護の実施

- 54会場に222人を派遣し、255人を救護

赤十字奉仕団による活動

22,766,610円

1 地域に根ざした活動の展開

- 防災活動や災害救護訓練への参加
- 救急法・水上安全法・
幼児安全法等の普及
- 献血推進活動
- 地域の高齢者や子育て世代
などのニーズに応じた活動
- 赤十字施設での奉仕活動



地域奉仕団による活動

2 ボランティアリーダーの養成

- 系統研修(基礎、RCVS、リーダーフォローアップ) 42回
..... 1,687人
- 奉仕活動技術研修 25回 655人

3 青少年赤十字採用校等への体験学習の指導・協力

- 各地域で351人の奉仕団員が3,559人の児童・生徒を指導

4 「赤十字のつどい」や「一日赤十字」の開催

- 県内全ブロックで開催し、市民を含む844人が参加
(赤十字のつどい)
- 29の地域奉仕団が開催し、1,688人の団員や市民が参加
(一日赤十字)

義肢製作所の運営

53,378,882円

身体に障害を持っている方々の身体機能を補い、障害の軽減を図り、職場や日常生活での利便性の向上を図ることを目的に日本赤十字社で唯一の義肢製作所の運営を行っています。また、見学者や体験学習の中学生を受け入れ、義肢製作所や身体障がい者について啓発活動を行っています。

1 義肢、装具等の製作・修理

..... 571件

2 出張相談及び訪問相談

..... 652人

3 見学者の受入

- 身体障がい者や義肢・装具に対する理解促進
- 見学者数 713人



体験学習における足の型取り

地域における赤十字活動 76,432,600円

◎地区区分への赤十字活動費等

全国的な赤十字事業・活動 82,276,527円

◎日赤本社が実施する全国的な事業・活動費

救急医療機器の整備・
看護師養成費 57,644,425円

◎救急医療機器の整備等

地域福祉活動推進事業等 8,472,177円

◎血液センターに係る事業費等

管理業務費 79,784,389円

◎赤十字会館修繕保守管理費等

各事業共通運営費 63,460,562円

◎備消耗品・光熱水・通信運搬費等

青少年赤十字の活動

30,170,981円



リーダーシップ・
トレーニング・センター

青少年が赤十字との出会いを通して、いのちの大切さを学び、日常生活の中で思いやりの心を自ら育むことをねらいとして、「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」という3つの実践目標を掲げ活動を進めました。

平成23年度は、217校(園)が青少年赤十字を採用し、学校教育の一環として取り組みました。

1 「健康・安全」の実践

- 「千葉県青少年赤十字のつどい」において、救急法コンテストを開催し、日ごろの救急法の練習成果を確認しあった

2 研修会等の実施

- 指導者対象研修会 33回 1,348人
- 青少年対象研修会
(リーダーシップ・トレーニング・センター等) 14回 428人

3 国際交流派遣事業

- バングラデシュ人民共和国
..... 中・高校生 8人 / 指導者・職員 4人を派遣

4 国内交流派遣事業

- 佐賀県、熊本県 小学生 7人 / 指導者・職員 2人を派遣

5 赤十字奉仕団との協働による防災活動や福祉体験学習の実施

- 救急法、非常食炊飯や車椅子体験など206会場で実施し、9,745人が参加

赤十字精神と社旨の普及

93,530,881円

「人間を救うのは、人間だ。」のよびかけを中心に広報活動を展開し、赤十字地域奉仕団や地区区分、さらには協賛してくださる町内会等の役員の方々との協働により、28万人を超える方々の赤十字社員と6億4千万円弱の活動資金(社資)を得ることができました。

1 社員数

- 個人 273,124人
- 法人 12,384法人

2 社資実績額(歳入)

..... 638,157,957円

3 広報活動

- (1)年間広報
 - 赤十字新聞(本社発行) 12回 78,000部
 - 赤十字NOW(支部発行) 3回 45,000部
 - ニュースレター(支部発行) 2回 80,000部
- (2)5月・6月の赤十字運動月間キャンペーン
 - 社資募集チラシ 67万枚各戸配布(回覧)
 - 公共機関・町内会掲示ポスター 18,000枚
 - 駅構内へのポスター掲示
..... JR 県内全駅、京成50ヶ所、東葉高速50ヶ所
 - 千葉ロッテマリーンズ赤十字応援デー
~東日本大震災復興支援キャンペーン~
..... 平成23年5月15日 入場者 26,210人
- (3)東日本大震災記録写真展
..... 平成24年2月14日~19日 入場者 1,715人



千葉ロッテマリーンズ
赤十字応援デー

合計 【一般会計 歳入】
761,362,882円
【一般会計 歳出】
761,362,882円

赤い羽根



2012.10/01 ~ 12/31



子育てサロン/船橋市



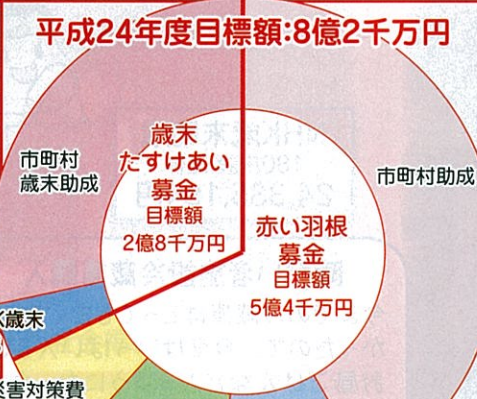
一人暮らし高齢者給食/富里市



いきいきサロン/白子町



高齢者施設血圧購入/千葉市



介護者のつどい/南房総市



仮設住宅復幸イベント/旭市



障がい者施設通院・外出用車両購入/木更津市



高齢者施設配膳車購入/我孫子市



2011 ポートクイーンちばのみなさん
【JR千葉駅前:平成23年10月1日】

平成23年度の共同募金に7億3,240万円のご協力をいただきありがとうございました。皆様からお預かりした募金は、あなたのまちの福祉や福祉施設・団体の整備費などに活用させていただきました。

また、東北関東大震災で多くの方から寄せられた義援金2億8,354万円は県内・全国の被災者にお届けしました。

さて、平成24年度共同募金については、多くの要望が地域・施設・団体から寄せられ、それを実現するために募金目標額を8億2,000万円としました。地域福祉推進のため、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

社会福祉法人 千葉県共同募金会
会長 小島 信夫

あなたの募金は、あなたのまちへ

赤い羽根募金の6割、市町村歳末たすけあい募金は全額



南房総市



特別養護老人ホーム入所者への訪問理美容サービス<野田市社会福祉協議会>



睦沢町



NHK歳末たすけあい

H23年度は地域に必要な障害者就労継続支援施設、重症心身障害児通園事業施設、認知症高齢者・障害者グループホームなどを新たに加え、178施設に助成決定しました。

共同募金Q&A

Q1 どうして目標額を決めるのですか？

A1 共同募金は社会福祉法により助成計画と目標額を事前に定める計画募金です。毎年、福祉施設・団体などから次の年度に助成が必要な事業の要望をとりまとめ、助成計画を立て、目標額を定めます。この額は県内各地の地域福祉ニーズにお応えしたいという目標の額です。

Q2 募金は自主的な行為なのに、割り当てがあるのはなぜですか？

A2 共同募金はみなさまに金額を割り当てる募金ではありません。ただし、地域福祉のニーズに応えるため設けた目標額に対してどの程度募金が必要か、その判断材料として目安額(各市町村の必要額に応じて異なる)を示すことはありますが、あくまでも目安ですので、どうか任意のご協力をよろしく願います。

Q3 共同募金への寄付金には税の特典があるそうですが？

A3 個人の寄付金は2千円を超える部分が所得控除または税額控除、個人住民税の税額控除の対象になります。会社などの法人の寄付金は、全額損金算入または寄付金の特別損金算入(社会福祉法人-特定公益増進法人へ寄付金を支出した部分)ができます。なお、遺贈による寄附金には相続税がかかりません。

平成23年度
目標額 8億2千万円

千葉県内でお寄せいただいた募金

	平成23年度募金額
赤い羽根募金	473,725,326円
市町村歳末たすけあい募金	232,072,320円
NHK歳末たすけあい募金	26,608,135円
合計	732,405,781円

平成23年度募金のつかいみち

市町村歳末助成
1,110事業
208,712,986円

市町村社会福祉協議会へ
54市町村
332,529,482円

歳末
たすけあい
募金

赤い羽根
募金

災害対策費
92,472,000円

共同募金運動経費
84,867,486円

県内福祉施設・団体へ
75施設・団体
75,227,240円
使途選択助成
7団体
886,518円



障がい者ふれあい交流<東金市社会福祉協議会>



夏休み福祉わくわく体験<東庄町社会福祉協議会>



介護支援ボランティア養成講座<流山市社会福祉協議会>



高齢者施設へ友愛訪問<豊海幼稚園/九十九里町>

使途選択募金(寄付者が“つかいみち”を選べる募金)

- ① 児童養護施設等卒園者の就職・進学祝金
- ② 被災者・被災地支援
- ③ ホームレス支援
- ④ 認知症出前交流会、原爆被爆体験の小中学校での語り部活動などの団体助成

今年度の使途選択募金については4ページに掲載しています。

「設置・掲示」場所募集中!



- 「募金箱」設置
山武杉の募金箱作成中!
- 「自動販売機」設置
(↑売上げの一部が寄付金に)
- 「ポスター」掲示
詳しくは、県共同募金会または各市町村の共同募金会支会までお問合せください。



【自販機設置協力/特別養護老人ホーム志津ユーカリ苑<佐倉市>】

“つかいみち” を選べる募金 ～使途選択募金・助成～

- ①被災者・被災地支援
- ②児童養護施設等卒園者の就職進学祝い金
- ③ホームレス支援
- ④認知症出前交流会（つどい）支援
- ⑤原爆被爆体験の小学校等での語り部活動
- ⑥チャイルドライン、ママパライン、乳幼児のためのおしばい
- ⑦難病 ALS 患者へのコミュニケーション支援
- ⑧いのちの電話

重点助成

- * 防災・減災、自殺、虐待、いじめ、不登校、引きこもり、ニート、フリーター、ホームレス等への取り組みの事業費
- * 高齢者ふれあいサロン、子育て支援サロン、障がい者等の就労にかかる施設の整備費・修繕費

たとえば・・・

いじめの相談、障がい者のはたらく場や高齢者・子育て支援サロンを応援します。

お店や作業場やサロン活動に必要な備品の購入や、施設の設備の改修など。



災害へのとりくみ

～共同募金は災害時、さまざまな支援を行います。～

*東北関東大震災へのとりくみ

◆ 災害義援金

(中央共募・日赤扱いを併せ被災者へお届け致します)

○千葉県共同募金会扱い

283,540,488円 <7月26日現在>

全国の被災者へ 202,796,104円
千葉県内の被災者へ 80,744,384円

* 災害等準備金 *

災害救助法が適用される災害等の支援のため、毎年の「共同募金」の3%を積み立てています。



◆ 赤い羽根募金から

- 災害見舞金 11,252件 57,677,000円
 - 災害等準備金 14団体 31,398,998円 <7月26日現在>
- <内訳>
- 県内へ ボランティア保険 5団体 5,058,270円
 - ボランティアセンター開設 3団体 305,370円
 - 福祉関連施設破損復旧 6団体 5,208,000円
 - 県外へ 被災県へ 20,827,358円
- 使途選択助成(被災者・被災地支援) 3団体 983,758円

ありがとうメッセージ

利用者さんが赤い羽根の車の絵を書いてくれました。



ありがとうございました



施設で作った「うどん」を配達します。ありがとうございました。障がい者授産施設あすか園/柏市

共同募金の詳しいつかいみちはこちらまで・・・

<http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>



赤い羽根募金のつかいみち
赤い羽根データベース

はねっと

お問い合わせは、県共同募金会または市町村の共同募金会支会へお願いします。

社会福祉法人 千葉県共同募金会

〒260-0026

千葉市中央区千葉港4-3 千葉県社会福祉センター2F

TEL: 043-245-1721 HP: <http://www.akaihane-chiba.jp>

